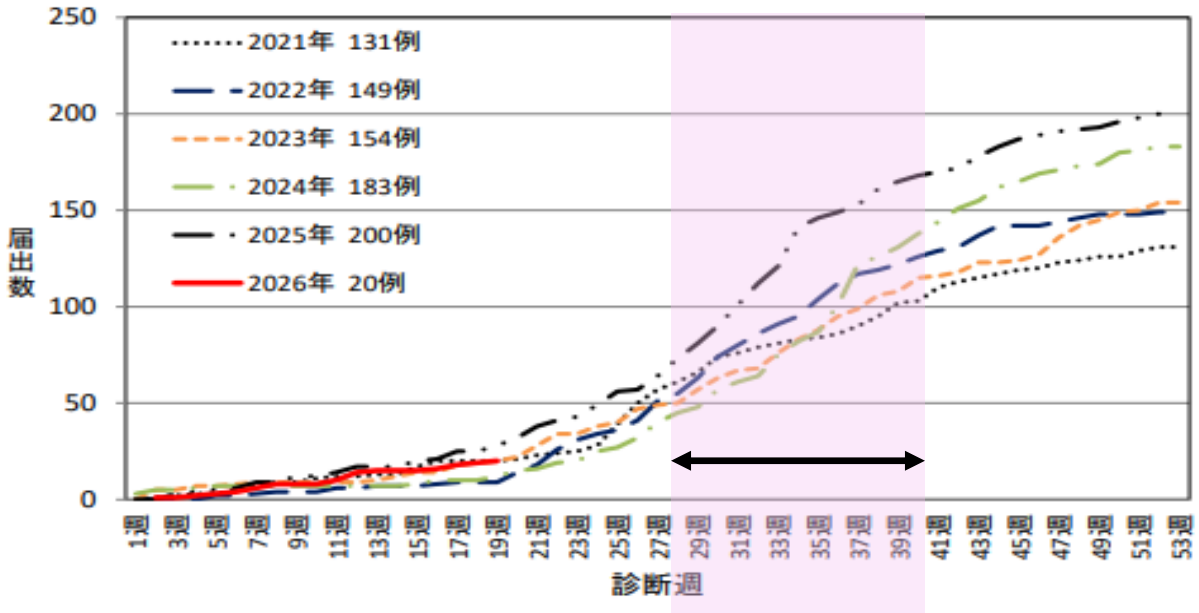


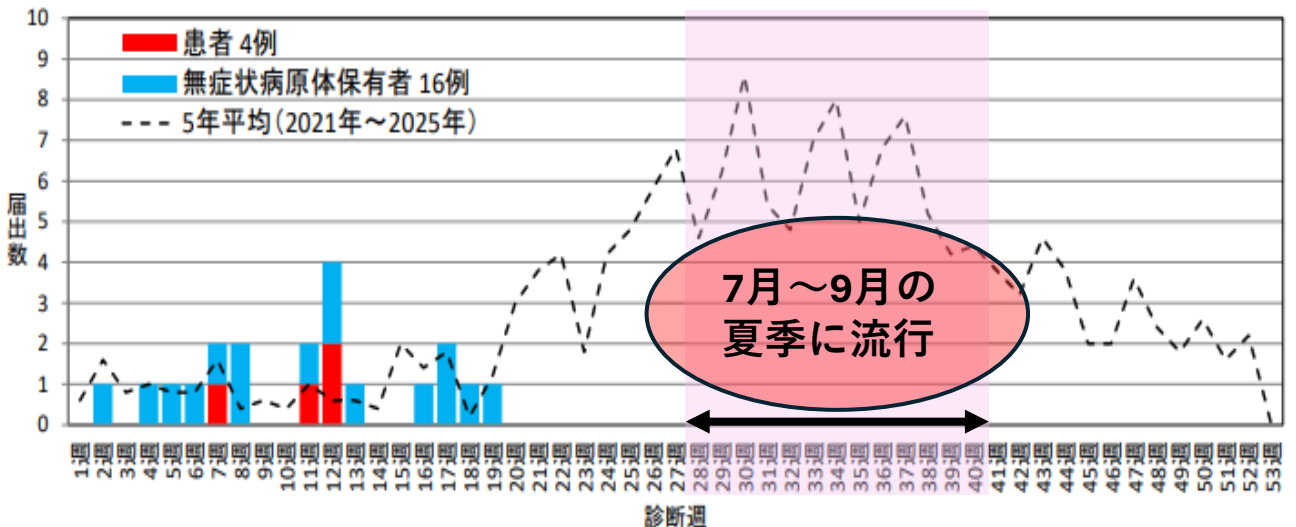
トピックス1 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌は、年間を通して発生する可能性がありますが、一般的に気温が高い初夏～初秋が流行期であり、県内でも例年届出数が多くなる傾向があるため、これからの時期は特に注意が必要です。

2021年～2026年第19週 千葉県の腸管出血性大腸菌感染症
年別累計届出数 837例



2026年 千葉県の腸管出血性大腸菌感染症 診断週別・類型別届出数 20例



腸管出血性大腸菌感染症ってどんな病気??



感染経路

汚染された食品や手指等を介した経口感染です。少ない菌数で感染が成立するため、感染拡大しやすいとされています。

症状

無症状から重篤な合併症を起こし死に至るものまで様々です。下痢・腹痛・血便などが起こります。子どもや高齢者は特に合併症が起こりやすく注意が必要です。

家庭でできる食中毒予防の6つのポイント

point 1 食品の購入

消費期限などの表示をチェック!

肉・魚はそれぞれ分けて包む

できれば保冷剤(氷)などと一緒に

寄り道しないでまっすぐ帰ろう

point 2 家庭での保存

帰ったらすぐ冷蔵庫へ!

入れるのは7割程度に

肉・魚は汁がもれないように包んで保存

停電中に庫内温度に影響を与える扉の開閉は控えましょう

冷蔵庫は10℃以下に維持

冷凍庫は-15℃以下に維持

point 3 下準備

冷凍食品の解凍は冷蔵庫で

タオルやふきんは清潔なものに交換

ゴミはこまめに捨てる

こまめに手を洗う

肉・魚を切ったら洗って熱湯をかけておく

肉・魚は生で食べるものから離す

野菜もよく洗う

包丁などの器具、ふきんは洗って消毒

井戸水を使っていたら水質に注意

point 4 調理

加熱は十分に(めやすは中心部分の温度が75℃で1分以上)

台所は清潔に

作業前に手を洗う

電子レンジを使うときは均一に加熱されるようにする

調理を途中で止めたら食品は冷蔵庫へ

point 5 食事

食事の前に手を洗う

盛り付けは清潔な器具、食器を使う

長時間室温に放置しない

point 6 残った食品

時間が経ち過ぎたりちょっとでも怪しいと思ったら、思い切って捨てる

手洗い後、清潔な器具、容器で保存

作業前に手を洗う

温めなおすときは十分に加熱する(めやすは75℃以上)

早く冷えるように小分けする

食中毒予防の3原則 食中毒菌を「付けない、増やさない、やっつける」

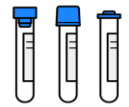
厚生労働省

参考: <https://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/dl/point0709.pdf>

これからの季節は、暑さのため、体力及び免疫力が低下しやすくなります。十分な睡眠と休息をとり、規則正しい食生活を心がけましょう。



トピックス2 HIV検査普及週間



《HIV検査普及週間(6月1日～6月7日)》

厚生労働省では、HIVの浸透・普及を図る事を目的として毎年6月1日～6月7日までの1週間を「HIV検査普及週間」とさだめ、検査普及に向けた啓発イベントを実施しています。 参考：https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000206538_00023.html

HIV感染症は予防可能な感染症であり、適切な予防策をとることが重要です。また、エイズ発症予防のためには、早期診断と早期治療が重要です。感染予防と早期診断は社会における感染拡大防止にもつながります。

印旛保健所では無料・匿名でHIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎・クラミジア・淋菌の検査を実施しています。

エイズ予防情報ネットAPL-Net エイズQ&A
<https://api-net.jfap.or.jp/knowledge/index.html>

《レッドリボンの使用について》

“レッドリボン”は、エイズへの理解と支援の象徴として使われています。エイズ予防財団では、HIV感染症・エイズの予防とまん延防止、エイズの流行に影響を受けている人々の人権の尊重と偏見・差別の解消という、社会全体が目指すべき目標を実現するために、レッドリボンの普及推進に努めています。 参考：<https://www.jfap.or.jp/publication/index.html>

6月のHIV等性感染症検査のご案内



実施場所：印旛保健所 2階 / 印旛保健所成田支所

実施日時：6月10日(水) 13:30～ / 6月15日(月) 13:15～

予約開始日：6月1日(月)～受付開始

検査内容：HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎・クラミジア・淋菌

注意事項：

- ・完全予約制です。
- ・予約は定員に達し次第、受付終了となります。
- ・ちば電子申請サービスまたは電話で予約ができます。
- ・匿名検査です。居住地に関わらず受検することができます。
- ・症状のある方は保健所では治療が出来ないため、医療機関をご受診ください。
- ・HIV検査、梅毒検査、肝炎検査の結果は、採血の1～2時間後に対面にて口頭でお伝えします。
- ・クラミジア、淋菌の検査については、2週間後に結果がでます。
- ・HIV即日検査の結果が陽性となった場合は、追加で採血を行い、結果通知のため2週間後に再度来所いただきます。

※ちば電子申請でのお申込みは以下URLよりお願いします。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-inba/kenkousoudan/hiv.html>

※お電話でのお申込みは

印旛保健所 疾病対策課(佐倉市) 043-483-1466

印旛保健所 成田支所(成田市) 0476-26-7231 へお願いします。

■エイズってどんな病気？

エイズはHIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することによっておこる病気です。

HIVの感染後、自覚症状のない時期が数年続き、さらに進行すると病気とたたかう抵抗力が低下し、発生するようになります。

■HIVの主な感染経路

血液感染	性的感染	母子感染
HIVに感染した人の血液を介してウイルスが移ること	性的接触により体液を介してウイルスが移ること	HIVに感染した女性が赤ちゃんに感染させること
		
注射器の共用 輸血・臓器移植 傷口の接触など	性行為の種類や相手の数・ コンドームの不使用など	妊娠中・出産時・授乳時の いずれかのタイミングで 起こる可能性がある

イラスト： https://www.gme.co.jp/column/column109_probability-of-hiv-infection.html

■HIVの予防方法



◎コンドームの正しい使用◎

コンドームを一貫して正しく使用すれば、HIV感染リスクを減少させる事ができます。

◎性的パートナーの数を制限する◎

パートナーの数を制限することで、感染リスクを減らせます。特に、パートナーのHIV状態が不明な場合や、リスクの高い行動をとっている可能性がある場合は注意が必要です。



◎HIV検査を定期的に受ける◎

自分とパートナーのHIV状態を知る事は、予防において重要です。



梅毒 届出状況

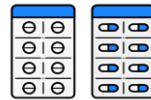
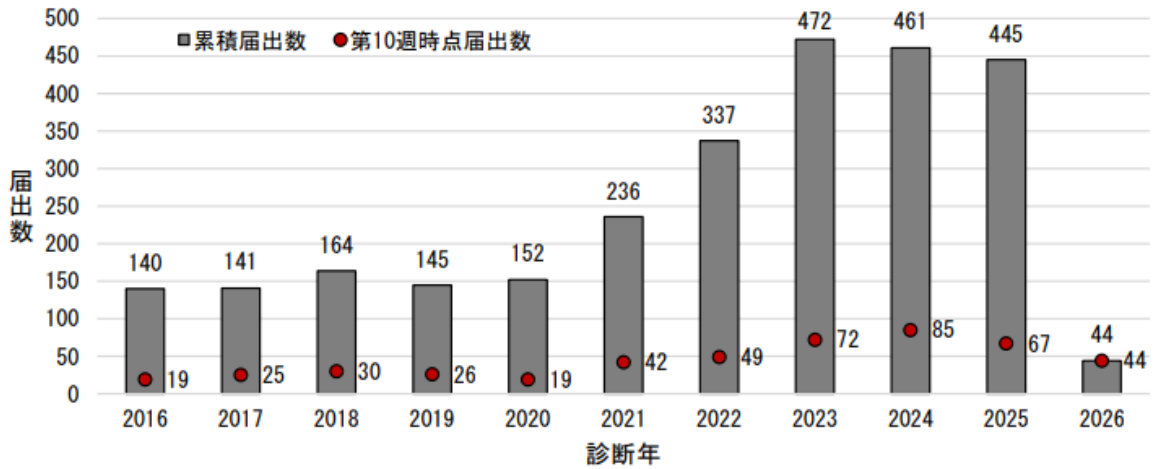
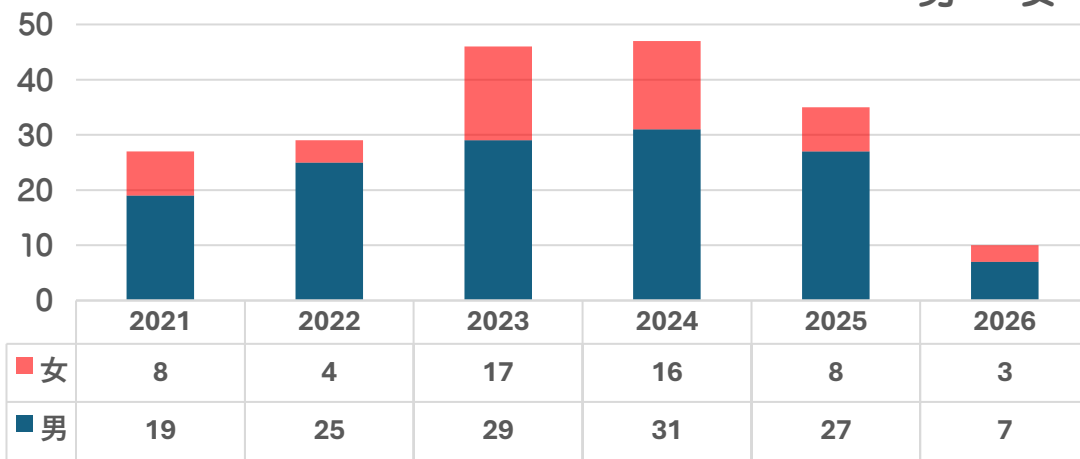


図1：2016年から2026年第10週までの千葉県の梅毒診断年別届出数

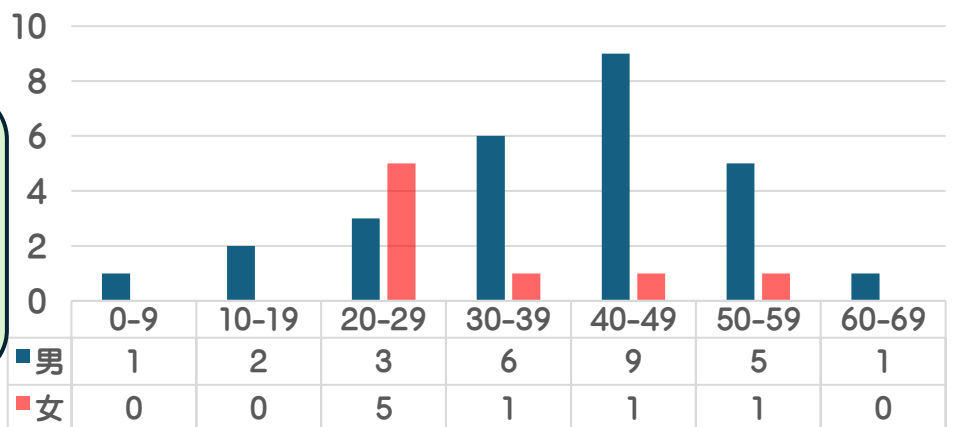


千葉県の梅毒の届出数は、2023年が最多となって以降、高い水準で推移しており、引き続き発生動向に注意が必要です(図1)

図2 印旛保健所管内の梅毒届出推移
2021年~2026年第19週



印旛保健所管内
性別・年齢別梅毒届出数 2025年 n=35



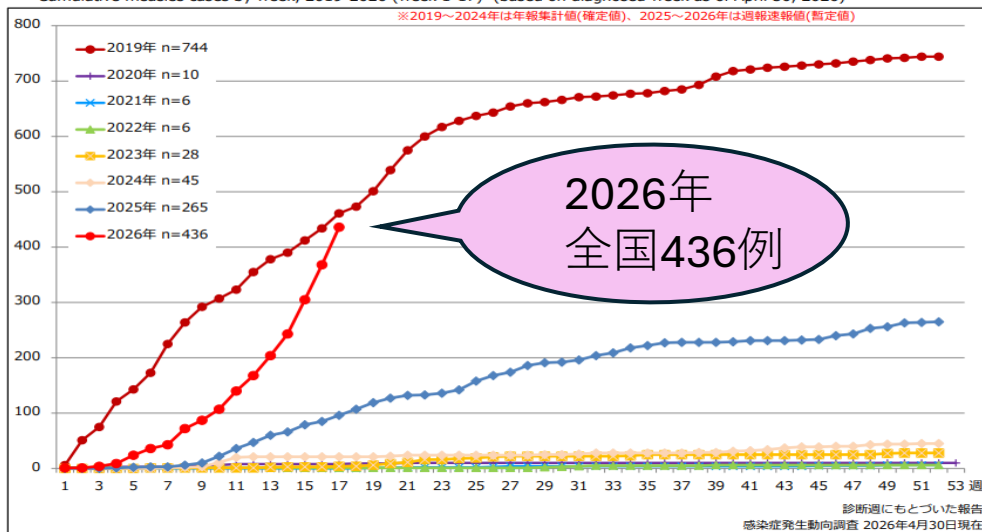
印旛保健所管内も
千葉県と同様の
傾向となっています
(図2)。

麻疹(はしか)

千葉県は2026年第19週までの県内の累計は30例となりました。
全国では、第17週までの累計が436例となりました(表)。

1. 麻疹累積報告数の推移 2019～2026年(第1～17週)

Cumulative measles cases by week, 2019-2026 (week 1-17) (based on diagnosed week as of April 30, 2026)



麻疹(はしか)が世界・国内で増加しています。

麻疹は**感染力が極めて強く**、適切なワクチン接種を受けていなければ誰でも感染するリスクがあります。

免疫のない人が感染者にさらされた場合、約90%が感染すると報告されています。

症状は、**発熱、鼻水、咳、結膜炎、全身への発疹**がみられます。

麻疹を疑った場合は、まず医療機関に電話で連絡してから受診してください。 待合室で他の患者さんに感染を広げないように、受診方法について指示を受ける事が重要です。



MRワクチン(麻疹・風疹混合)の2回接種で予防できます。

定期接種
第1期

1歳になったら速やかに

定期接種
第2期

修学前の1年間に接種

定期接種を受け損ねた方

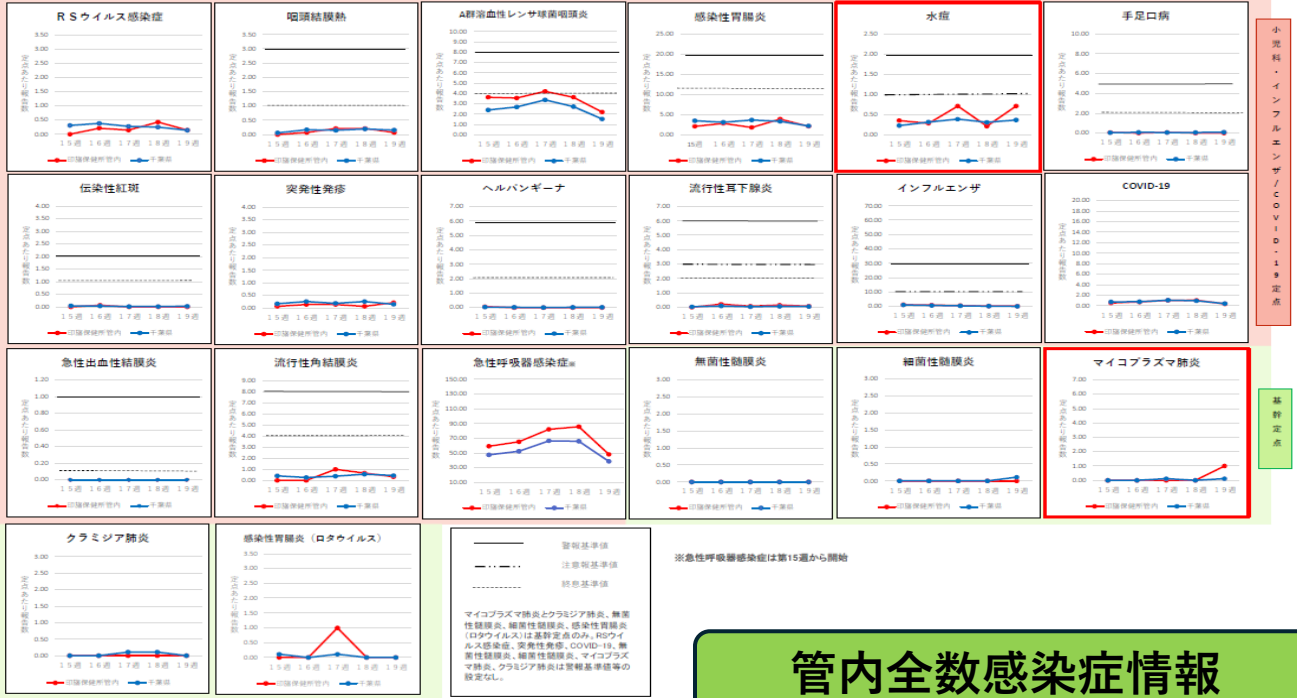
気づいた時点でかかりつけ医に相談を

ワクチンによる予防が最善の対策です！

管内定点感染症情報

2026年第15週～第19週の
発生動向です

印旛保健所管内の感染症発生動向(最近5週)



管内全数感染症情報

2026年第15週～19週の管内の
全数感染症の発生情報です

管内全数報告感染症情報 (2026年) 第15週～第19週

2類感染症	15～19週計	合計(年)
結核	13	46
3類感染症		
細菌性赤痢	0	1
腸管出血性大腸菌感染症	0	1
パラチフス	0	1
4類感染症		
E型肝炎	0	2
A型肝炎	0	2
デング熱	0	1
マラリア	0	1
レジオネラ症	0	2
5類感染症		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	4
急性脳炎	0	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	2	2
ジアルジア症	0	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	3
侵襲性肺炎球菌感染症	4	11
水痘 (入院例)	0	2
梅毒	3	10
播種性クリプトコックス症	2	3
百日咳	3	20
麻疹	1	3

※届出があった疾患のみ表示。

※数字は印旛保健所の発生届受理数のため管外居住の患者を含みます。

侵襲性肺炎球菌感染症は
第15週～第19週に4例
届出があります。

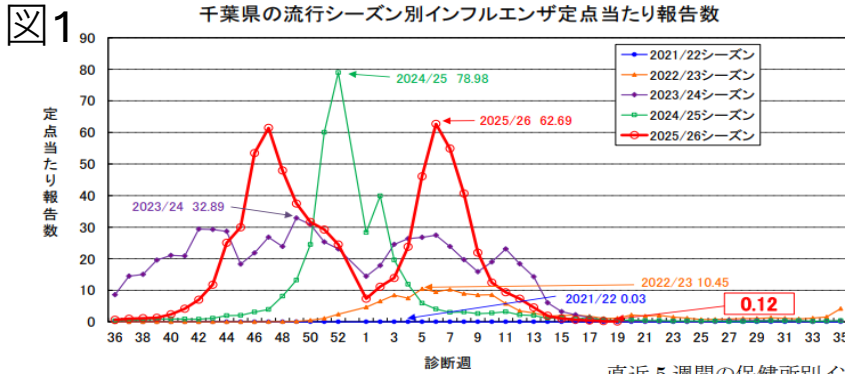
特に高齢者や
免疫力の低下した方は
注意をしましょう。

ワクチン接種等は
かかりつけ医へ
ご相談ください。

[侵襲性肺炎球菌感染症](#)
[国立健康危機管理研](#)
[究機構 感染症情報提](#)
[供サイト](#)

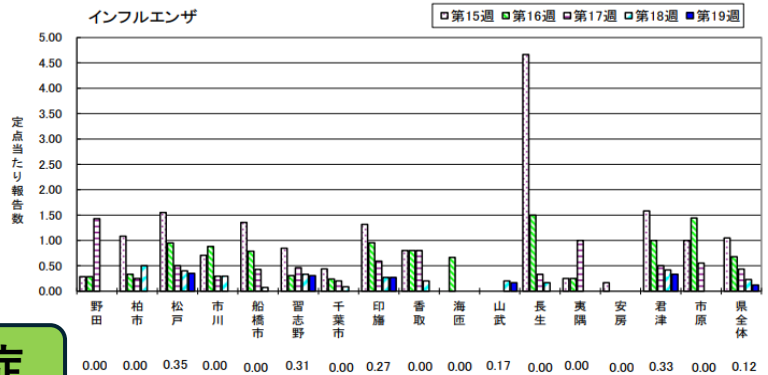
インフルエンザ感染症

～定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です～



第19週の千葉県全体の定点当たり報告数は0.12(人)でした(図1)。

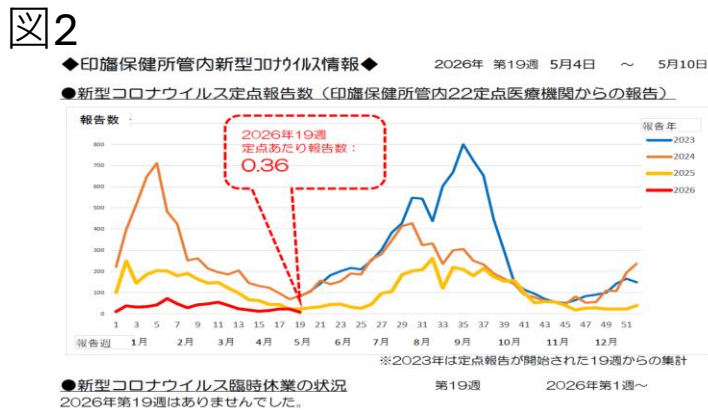
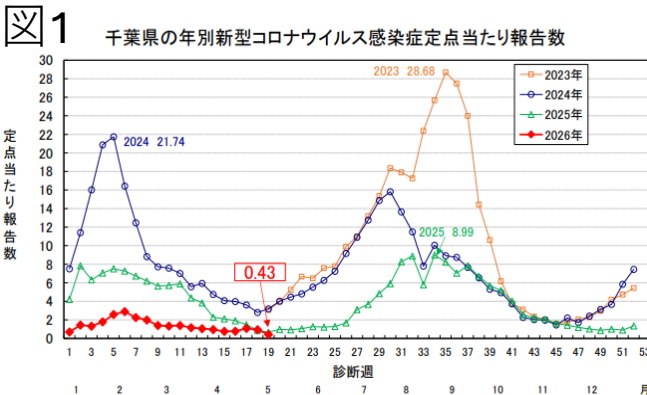
直近5週間の保健所別インフルエンザ定点当たり報告数



- ## 感染対策
- ①手洗い・手指衛生
 - ②マスクの着用・咳エチケット
 - ③室内の換気
 - ④室内の湿度の保持
 - ⑤人ごみを避ける
 - ⑥ワクチン接種

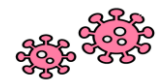
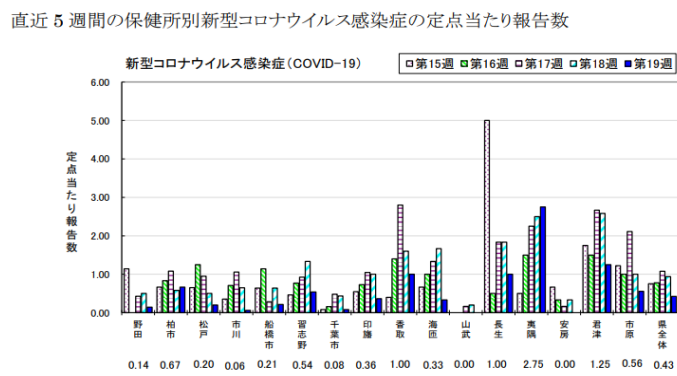
新型コロナウイルス感染症

～定点医療機関における感染者数の報告は減少傾向です～



第19週の千葉県全体の定点当たり報告数は0.43(人)でした(図1)、印旛保健所管内の報告数は0.36(人)でした(図2)。

新型コロナウイルス感染症の発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202619covid19.pdf>



管内における感染症発生状況について、主に千葉県感染症情報センターの情報を基に作成しています